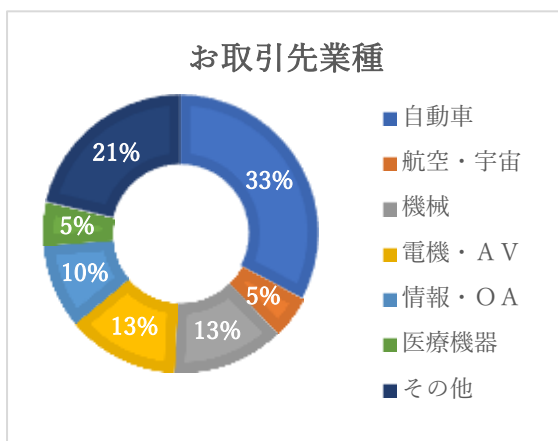


下請取引適正化に関するアンケート調査結果

一般社団法人東京都金属プレス工業会／株式会社事業革新パートナーズ
 アンケート実施期間：2020年7月1日～17日
 送付会員企業数：116社 回答数：37社(31%)

◆お取引先の業種について



1.自動車 (バス・トラック)	33%
2.航空・宇宙	5%
3.機械 (農業・産業・建設・工作)	13%
4.電機・AV	13%
5.情報・OA	10%
6.医療機器	5%
7.その他	21%

◆質問①

「型の廃棄」に関する取組について、現状をお知らせください。

[自動車 (バス・トラック)]

- 顧客の計画により進めている部分もあるが、具体的な廃棄は進んでいない
- 殆ど進んでいない。唯一、自動車のみ顧客ルールに従って部品廃止と共に型廃棄を行っているが、手続き処理が面倒である（廃棄申請をメーカーから提出する為、約半年位の期間が必要である）
- 非量産型の個別交渉、年数型（数品番）廃棄申請をして、初めて「量産終了」と判るものもあり、現物処分までも申請書類や承認の複雑さがあるため時間がかかり過ぎる
- 契約では生産打ち切り後15年間保管となっているが、実態は製廃制度に基づく。製廃制度により、過去4年間以上流動実績がない部品を提案書にて提出しOK・NGの判断を仰ぐが、ほとんどがNGとなってしまう
- 返却または廃棄について相談するが、なかなか話が進まない。こちらから申し出ないかぎ

り、取引先から言ってくることはない

- 金型廃棄申請をするも、一次メーカー様からの回答はほぼ無い
- 返却申請を繰り返し行っているが、全く進まない会社もある
- 2019年7月31日時点で98型の廃却申請中だが、まだ未回答である
- 2018年1月から137型申請、123型廃棄
- 2019年以降300型を申請し、約150型の廃却を実施した
- 2019年310型申請、88型廃棄
- 2019年50型申請し、一括生産して6型廃却、残44型客先にて確認中である
- 2019年～2020年にかけて、12型廃棄した
- 2019年に47型を廃棄、52型を返却した
- 長年本社にあった金型の廃棄が認められたものは廃棄するなどし、整理が徐々に進んでいる。現在つくば工場では、全ての金型の廃棄、返却はおおむね終了している。2020年12月までに、本社の不要型を廃棄もしくは返却しようとしている
- 2019年に85型、2020年に38型を申請し、すべて認められた
- 取引先によって対応が異なるが、大きな問題は発生していない
- 車関係は廃棄が進んでいる。又は保管料の支払いが進んでいる

[航空・宇宙]

- 「型の廃棄」に関しては問題ない

[機械（農業・産業・建設・工作）]

- 前回注文から3年経過のものの廃却、返却を交渉。1社を除いて認めてもらえた
- 客先によって判断が異なる。こちらからは何度も申請をしているが、相変わらず営業の判断が遅いので、型廃却ができない。補用品終了後の型廃却をしている会社はある

[電機・AV]

- 2019年に150型を申請し、最近約50型廃棄が認められた。更新し使わなくなった型でも、なかなか廃棄が認められない
- 量産終了から5～10年たった金型の写真とExcelのリストを取引先にメールで送っても、簡単には返事が来ない。1年たっても返事がないため、しつこくメールを送っている
- 2010年～2019年にかけて客先に申請し、ほぼ認められた。約200型。ただし、時間を要した
- 廃棄申請は出していない

[情報・OA]

- 客先によって対応の違いがある。①量産終了金型の保管料有り、②量産終了金型引取り、③量産終了金型の保管料無し
- 2018年10月～2019年9月（弊社期）に531型申請し、283型返却、134型廃却、残りは

今期申請に盛り込んだ

- 電機・OA業界は、毎年廃棄処理する事となっている

[その他]

- 申請を行うが、何年も回答が無い
- 再委託先の加工業社より 100 型引き取ったが、弊社の客先が廃棄を進めてくれずにいる
- 何千型の保有のうち、数型の廃棄が認められた
- 一部の取引先とは、終息品、長期停滞品などの順に廃棄を進めている
- 廃品決定後、製品廃棄と共に金型についても確認し、都度廃棄を実施している 2019 年 67 型申請して、全て廃棄許可された
- 廃棄済みである

◆質問②

「型の保管」に関する取組について、現状をお知らせください。保管料については、現在交渉中の項目、または認められた項目についてもお知らせください。

[自動車（バス・トラック）]

- 保管料は、どの顧客からもいただけていない。そのような話は顧客内にルールが無いのか、話自体聞きたがらない
- 保管料は認められないため、交渉の再開のめどが立っていない
- 保管状況は、原則金型ラックに収納、但し補用品（量産打切り品）については野外に野積みしている。保管料（場所代、保管事務に要した人件費・労務費、その他保管に際して支出した項目、ロケーション管理の為の諸経費）はもらっていない。但し、契約条件に管理費が設定されていることもあるが、保管料に含まれるかどうかは不明である
- 発注者側の認識が甘く、真剣に受け止めていない。認めない状況である
- 保管料は未請求である
- 全工場の金型台帳を弊社で作成し管理しているが、保管料、メンテナンス代については一切申し出ていないため、全くいただけていない
- 主要取引先の廃却申請に対する回答が全て出た上で、保管しなければならない金型の数量から交渉を始める予定である
- 倉庫代として交渉中である
- 2019 年では、1 社で外部倉庫代を見積書によって認められ、10 月より支払われるようになった。他の 1 社は半年以上交渉するも未実施となっている
- 外部倉庫及び協力メーカー保管について、2020 年 1 月から保管料 214,000 円を支払われる事になった（月間保管料 144,000 円増額）
- 一部の型については保管料の支払いがあった
- 車業界は保管料の支払いが進んでいる。他の業界は動きがない

- 保管料について認められた取引先と、話がなかなか進まない取引先がある
- 取引先により対応が異なる。2年ほど前から支払ってくれる企業もあれば、一向に支払いに応じない企業もある
- 家電メーカーからは保管料が2年前より支払われている。自動車関連メーカーからの支払いは無い
- 外部倉庫賃貸料について、4月から支払われるようになった
- 長期保管型の一部は、毎月保管料をいただいている

[航空・宇宙]

- 型倉庫があふれているので、少しずつ客先の許可をもらい廃棄や返却をしているが、なかなか進まない
- 「型の保管」に関しては問題ない

[機械（農業・産業・建設・工作）]

- 保管料、メンテナンス費用は交渉中である
- 保管料はいただいている。通常（年に数回）製作するもの以外は、製品納品時にお渡しするようにしている

[電機・AV]

- メンテナンス、保管料全て弊社負担である
- 保管料について請求した事はない。したいと思うが、しづらい。雨漏りの建屋の修繕に140万かかる
- 保管についての取組みはしていない。交渉も必要ない
- 現在保管型なし

[情報・OA]

- 客先によって対応の違いがある。量産終了金型の保管料有りの所と無しの所とある
- 金型預り書の取り交わし後、無料で社内保管している
- 電機・OA業界は毎年廃棄処理する事となっているため、「型の保管」に関する話はない

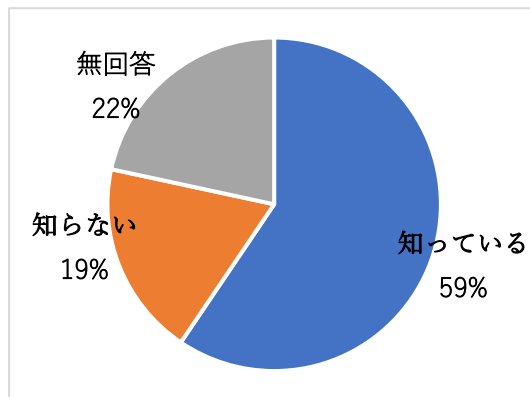
[その他]

- 型の保管費の見積りを提出するも返事はない
- 再委託先より保管料の申請があったので交渉中であるが、弊社の客先には良い返事はもらえない
- 内部保管及び共通金型多数のため、特に請求はしていない
- 保管料を請求したことはない
- 保管料については取組みをしていないが、大がかりなメンテナンスや、老朽化による新規製作の費用を認めてもらうケースはある
- 全て廃棄許可されたため、現在はそのような金型はない

◆質問③

2019年12月に経済産業省により、「型取引の適正化推進協議会 報告書」（型管理に関する目安）が公表されましたが、内容についてはご存知ですか？内容は、御社の型管理改善に役立ちますか？

※「型取引の適正化推進協議会 報告書」内容について



知っている	59%
知らない	19%
無回答	22%

[自動車（バス・トラック）]

- 知っている。型管理改善に役立っている。これに基づく客先との交渉の結果、「型の廃棄」に示す結果が得られた（2019年85型、2020年38型の型廃棄が認められた）
- 内容は周知している。目安を理由に取引先にアプローチ済み
- 報告書を参考に客先へ交渉している
- ルールは知っている。一部廃棄申請した
- 知っている。今後、より強く返却申請を行っていく
- 内容は知っており働きかけているが、なかなか認められない現実がある
- 内容は知っている。取引先も理解してくれるようになってきたが、「これから検討、整備する」とか「言ってくる会社の内容をまとめる」など、遅々として進まない
- 報告書に準じて行動しているが、客先回答等はスピード感のある対応とは思えない
- ルールは知っているが、運用にいたっていない
- 役に立っている
- 知っている（2社回答）
- 知らなかった（2社回答）
- 知らなかった。活用させてもらう
- 現在は詳しく理解出来ていない。今後調べて対応していくようにしたい
- 型管理改善は2018年から取り組んでおり、弊社の取り決めとして量産終了から10年と決めしたが、トラックなどは20年経過しないと不要型として認めることは出来ないと言われ、そのままになっている。2019年はものづくり補助金にずっと取り組んでいたため、昨车型管理はほぼ止まっていた。このコロナウイルスの影響で4月中旬より輪番制の休業体制に入っているため、また金型の整理が出来るようになった。2019年12月に公表された内容は知ら

なかったが、どの取引先に話しても「型取引の適正化」に対して、経済産業省が動いているのを理解しているので、根気よく交渉していけばもう少し改善するような気はする。もう一度、2019年12月の報告書を確認し、動いていきたい

[航空・宇宙]

- 知らなかった

[機械（農業・産業・建設・工作）]

- 経産省の資料をもとに、客先と交渉。助かっている
- 完全には把握していない

[電機・AV]

- ルールはある程度知っている
- 産業機械の型廃棄目安の10～15年は長い
- 既にほぼ廃棄済みである
- まだ見ていない。型管理での問題はまだない

[情報・OA]

- 経産省報告書により、客先への保管料について依頼する事が容易になった
- 目安を理由に、随時返却もしくは廃却申請を実施している
- 分らない

[その他]

- ルールは知っている。古い金型については得意先に確認している
- お客様からの問合せもあり、古い金型は当社のルールに従って廃却した
- 知っているが、これに沿った取組みはまだしていない。役立てたい
- 聞いたことはあるが、あまり良く理解出来ていない。社内的には全く知らない営業担当ばかりなので、教育が必要かと思う
- 公表前に型取引について処理した

◆質問④

その他、困りごと、ご要望などあれば、自由にお書きください。

[自動車（バス・トラック）]

- 保管費用の法整備及び単位の基準を示して頂きたい。受注者側の請求が効力を持てる法整備をお願いしたい
- 自動車は、量産終了後15年といっても1年足らずで生産終了（納入終了）するものもある。年数に拘らず納入が10年（5年が理想）止まっていれば、終了と判断出来るのはない

か？少なくとも、預かり保管料負担や資産登録している側で型保管（生産時に支給）すべきだと思う

- 保管費用の設定が不明である。但し、安い費用であれば、もらわない方がマシである
- 型の保管料については、取引先毎に交渉している。見積りのガイドライン（相場）になるような情報提供があると助かる
- 他の業界についても、車業界と同じ指導をしてほしい
- 引き続き情報展開等をお願いしたい
- 自動車販売促進のための優遇策を具体的にプレス業界として補助金確保してもらいたい
- メーカーが初期コストを抑えるために金型をリースした物があるが、所有権の問題か 20 年経過した金型でも廃却許可が得られない
- コロナ禍の影響でサプライチェーン全体の売上利益が減少している。型保管、補給品の値上申請ができづらい環境にある

[航空・宇宙]

- 取引先企業への周知をお願いしたい。当方からお願いするのは気が重たい

[機械（農業・産業・建設・工作）]

- 金型使用不可の注文が来た時、金型メンテナンス費は自社負担させられる。負担しない場合、今後の取引に支障が出る可能性がある

[電機・AV]

- 電機業界では、金型費負担支払い形態の段階である
- 上場企業は、コンプライアンスにより良く管理してくれる。ダメなのは、中小、零細企業。資材担当者では埒が明かないため、社長に直接訴える必要がある

以上